

報 廣

玉造



文化の匂う農業育成

行政改革推進委員会新たなスタート
 世界のリーダー圏アジアを目指して
 見て、視て、観て、私たちの学習・活動チャンネル

主な
内容

1996

2月号

No. 427

行政改革推進委員会新たなスタート



玉造町では、昭和六十年に「玉造町行政改革大綱」が
だされ、行政改革推進本部、そして行政改革推進委員
会が設けられ、改革への答申がなされました。
近年、本格的な地方分権化の流れの中で、社会の変化
に対応した行政の確立が要請されており、従来から取
り組んでいた行政改革を踏まえ、この度新たな委員に
より行政改革推進委員会の調査審議がはじまりました。

玉造町行政改革 推進委員会 調査審議に着手

町行政改革推進委員は、平
成七年十一月二十四日に任命
されました。第一回委員会
は設置条例により会長、副会
長が互選され、事務局より趣
旨や国・県等のうごきなどに
ついての説明がありました。
一月二十六日には、第二回
の委員会が開催され、町長よ
り行政改革全般の諮問を受け
審議がはじまりました。抽象
論に終わらぬように、また、
各立場で改善すべきような個
別課題にまでは踏み込まず、
玉造町の将来像を描くための
筋道のとおった答申をめざす
ことになりました。
委員は次のみなさんです。
(敬称略)

会長	阿部 剛
副会長	小沼 清嗣
委員	飯田 正義
委員	石橋 静男
委員	大崎 美代
委員	加藤 進
委員	佐伯 健児

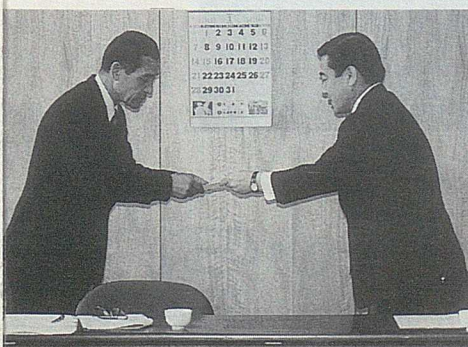
委員	白鳥 久夫
委員	羽成 忠一
委員	政所 久子

現在の主な取り組み

行政や財政についての見直
しは、社会情勢の変化に対応
した効率的なものにすべく、
日ごろより事務事業等の改善
に努力しているところです。
◇事務管理の整備
◇事務の共同処理（近隣町村
との協力など）広域行政
◇町の補助金等の適正な執行
◇外郭団体の自主的で効率的
な運営の指導
◇時代の変化に対応できる職
員の育成に向けた研修の充
実
◇民間委託やOA化等の事務
改革
◇公共施設等の管理運営の含
理化

今後の重点事項

本町においても住みよい福
祉社会をめざして、道路の整
備や下水道をはじめ社会資本
の充実に努めるなど、まちづ
くりの推進をしていますが、
その行政の進め方等について
も一層改善しなければならま



せん。その重点事項をあげて
みましょう。
○限られた財源の中で激しく
変化する社会情勢や新たな
行政課題に的確に対応する
ための基本は、事務事業の
見直しです。行政手続制度
が誕生し、情報公開につい
ても推進されなければなら
ません。
○そして、住民の立場に立ち
社会の変化にも的確に対応
する組織・機構の在り方が
求められています。
○住民の多様なニーズに応え
られるような適正な職員の
確保と管理、そして新たな行
政需要に対応できる人材の
育成と能力開発も重要です。
○また、住民の参加機会の拡
大はもとより、住民自らが
公平の見地から行政への参
加意識を高め、行政機構と
の連携が求められています。

きりり。郷土の文化遺産

平成七年度「文化財愛護・文化財防火デー」 ポスターコンクール入賞者決まる

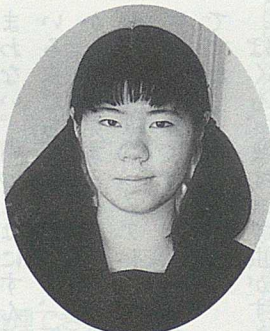
郷土には、多くの文化財が
のこされていますが、これは
ひとえに先人の弛まぬ努力に
よって今に伝えられているの
です。
文化財は、つくられた当時
の技術、生活様式、そして思
想や価値観等までも現代社会
に伝えてくれています。
文化財を保護活用すること
によって、歴史や自然の持つ
意味を理解できるようになり
ます。また、同じ過ちを繰り返
さないよう社会のあるべき
姿を示してさえるようです。
玉造町には、各分野全てを

網羅できる種類と茨城県では
屈指の文化財数を有します。
この度、町教育委員会と町
文化財顕彰会の主催により、
これらの文化財を理解し、大
切にしようとするねらいでポ
スターコンクールが開催され
ました。
応募も過去最高の三百九十
四点に及び、審査委員からは
身近な文化財に目を向け、色
彩感覚豊かで、ていねいな作
品が多くアイデアにすぐれ
ていたことなどの講評があり
ました。各賞は次のとおりで
す。(敬称略)

町長賞
小澤 文 羽生小四年

町議会議員賞

鈴木 朝子 玉造中三年



教育長賞

柳瀬 恵一 玉造中二年
文化財顕彰会長賞
森田 睦 羽生小六年
伊藤 由香子 玉造小六年
高野 昭門 玉造中二年
教育部長賞
小田 伊織 羽生小五年
鈴木 翠 玉川小一年
遠藤 麻美 玉造中三年

佳作

福田 亮輔 羽生小三年
高木 希実 玉造西小五年
槐 亜由未 現原小五年
細谷 早由里 玉造小一年
橋本 智史 玉造小四年
小島 かおる 手賀小二年
理崎 麻里子 手賀小五年
吉田 めぐみ 玉造中二年

感動をあなたにもつたえたい

今年もすばらしい一冊との出会いがありました
平成七年度読書感想文コンクール入賞者を発表

町長賞

政所 晃葵 羽生小二年

町議会議員賞

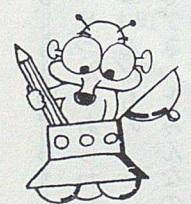
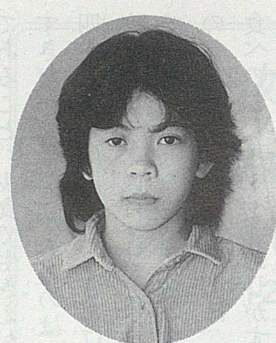
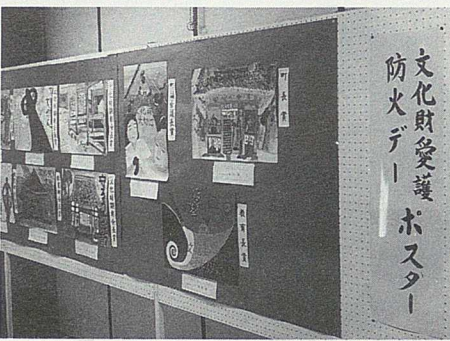
松澤 早希 玉造小一年

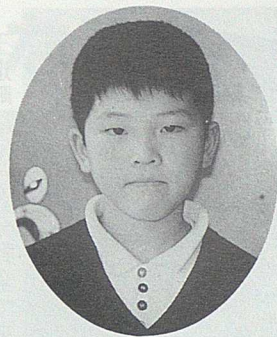
教育長賞

宮崎 隆治 玉造小二年
高野 幸子 玉川小四年
菊地 沙織 玉造小四年
松葉 育美 玉造中二年
教育部会長賞
山口 智光 現原小二年
菅谷 真紀 玉造西小六年
武田 純子 玉造中二年
図書館長賞
中澤 和也 手賀小二年

佳作

兼平 光喜 玉川小一年
菅谷 僚子 玉造西小三年
磯山 愛里 手賀小三年
渡辺 翔子 現原小四年
原田 かおり 玉造中一年
飯田 直美 玉造中一年





サソリと言うと、ぼくは、まず、星ざのサソリざのことを思い浮かべます。前に、天体の本で、なぜサソリざが生まれたかを知りましたが、夏の夜空には、ま南にサソリざが見られるそうです。また、べつ名、魚つりざとも言います。ぼくが見た時も、ぼんやり、つりばりの形に見えました。そんなことを考えながら、この「サソリの生たい」を読んでいると、ぼくの疑問点であるサソリのどくの成分は、何であるか、一ぴきのサソリがもっているどくのりょうは、どのくらいか、そのほか、多くのことが、分かりました。

まず、サソリは、目が、八つもあるのに近がんで、よく見えないから、おくびよう者であること。少食で生きえがすきだが、食よくがあるのは、四、五月のはんしよくきだけ、交びの後、メスはオスを食べてしまう。その時、はらの先のどくのあるところだけは、食べのこす。イヤなあじがするらしい。どくへびのどくの成分は、たん白しつらしいが、サソリの成分は、フアーブル先生にも、そして、げんざいでも分かっているらしい。

ぼくが、一番きょうみをかんだ点は、サソリのどくが、カプトムシ、コガネムシ、チヨウなどのかん全へんたいの幼虫には、まったくききめがなくて、さされてもいきいてるが、成虫は、すぐにしんでしまうことだ。はんにたいに、ムカデ、バッタ、カマキリなどのふかん全へんたいの幼虫と成虫は、さされても、生きている。

なぜか。フアーブル先生は、考えた。ぼくも考えた答は、かんたんだ。

昆虫は、幼虫から成虫にかわる時、体のそしきがかわり、めんえきがなくなってしまう。だから、体が、まったくかわってしまふ、かん全へんたいの昆虫ほど弱くて、早くしんでしまうのだ。



きよねんの一月十七日。ゆずちゃんは、かぜをひいていてやすんでいたけど、あしたはがつこうへいけるとおもっていたんだよね。ゆずちゃんもがつこうが大すきな子。ひさしぶりにドッチボールもできるとはりきっていたんだろ。うな。それなのに、はんしん大しんさいでいえの下じきに、なつてしんでしまった。

でも、もうゆずちゃんは、もう、ぜったいあらわれてはくれないんだもの。でも、きつとみんなのころの中には、ゆずちゃんがいきてるよ。だって、ゆずちゃんが、大すきなふうせんをもってあつまつたでしょ。空をみていたら、たいちくんのむねもぬくうなつたんだつてよ。

げんかんには、がつこうにもつていく水さいばいのヒヤシンスが、ゆずちゃんのおきのをまつていたんだつてね。かわいそうなゆずちゃん。もう、がつこうへいけなくなつちやつたんだもの。ゆずちゃんのこ、まつてるおともだちもかわいそうだね。あしたもあさつても、ずうつとま

それからね、ゆずちゃんにおしえてあげたいことがあるんだ。じつは、たいちくん、本とうは、ゆずちゃんにカチユーシヤがあうとおもっていたんだよ。てれくさかつたんだつて。

ゆずちゃん、わたしもおんがくが、大すきで、さんすうは、ちよつぱりにがて。それに、しようらいのゆめもにているんだよ。わたしは、「かんごふさん」だけど、ゆずちゃん「ふうせんやさん」で、はねをいためたとりやけがをしたどうぶつにふうせんをつけてあげるんでは。せかい中のあちこちにふうせんをとばすゆめのかわりに、いまごろは、天ごくのあちらこちらにとばしているのかなあ。

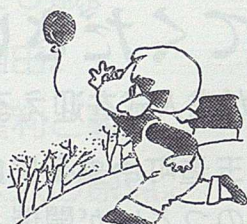
きょうも、ニュースで「かせつじゆうたくのひとりぐらしのおとしよりがしんでしまった」といっていたよ。

そのおじいちゃんも、ゆずちゃんからふうせんをもらったかなあ。

わたしのいとこのまさとおにちゃんね、ボランティアでこうべにいったんだよ。けがをした人がいっぱいたんだつて。ゆずちゃんのおともだちもいたかもね。

わたし、ゆずちゃんのように、「ようわらう」いつもあかるい子でいたいなあ。そして、大きくなったら、けがやびようきの人をはげますか。ごふさんになるんだ。

ゆずちゃんも、ふうせんやさんになるそのゆめをあきらめないでね。天ごくのふうせんやさんになつてね。



ごみの処理には お金がかかります。

ごみの減量にご協力お願いいたします。
麻生町外2ヶ町村環境美化組合・玉造町



出す前の確認8箇条

あなたのごみの出し方まちがっていませんか。

1. 収集日の当日、朝8時までに出していますか。
2. 可燃ごみと不燃ごみは、きちんと分けていますか。
3. 食物を入れたプラスチック（ジュースボトル・刺身・納豆）容器は可燃ごみにしていますか。
4. 可燃物の台所はごみは、水を切っていますか。
5. 庭木のせんてい枝木・ふとん類は、60cm以下に切断していますか。
6. 不燃ごみは、袋等に入れないで直接コンテナに入れていますか。
7. スプレー缶は、ガスを抜いていますか。
8. 出してはいけない物を出していませんか。（粗大ごみ・美化センターで処理できない物）

ストックヤードをご利用ください。

古紙・牛乳パックのリサイクルをしましょう。

町内に昨年設置しましたストックヤード（古紙等を保管するプレハブの建物）も、みなさまのご協力により好評のうちにご利用いただいているようです。新たな製品の方がコストもかからないということで、自由な経済活動の中で、真のリサイクル社会の成立には時間が必要です。しかし、基本は生活者の価値観や生活様式を改善することにあるようです。有限の資源を大切にしましょう。

わが国のリサイクルの現状は、平成6年ではスチール缶が69.8%、アルミ缶61.1%、古紙53.5%と高水準にありますが、平成4年のごみ全体のリサイクル率は、一般廃棄物で3.9%しかなく、ごみ問題はまだまだ大きな国民の課題です。

最近では、水、ジュース類や調味料、そして米の販売までにも利用されているペットボトルがリサイクルされています。軽くて丈夫で利用しやすいこのペットボトルは、益々需要が高まるようです。

本町でも、企業や消費者と連携して、各種製品のリサイクルに向け考えて行かなければならない時代を迎えています。

設置場所 玉造町中央公民館
手賀地区学習センター
玉造西地区学習センター

搬入日 毎月 第1日曜日
時間 午前8時～午後4時

●お問い合わせは 玉造町役場 生活環境課 環境衛生係 ☎55-0111まで

成人おめでとう！
20歳。
自由。
権利と義務。
大人の原点。

……………いつまでも新鮮な眼を。

成人式を迎えるに当たって

中山 柏葉 克子



今日ここに新成人を迎えられたかたはほとんどそう思うかもしれないけれども、年月の経つのはとても早く自分が二十歳になったという実感がわかないというのが本当の気持ちかもしれない。

二十歳という年齢は、これからの人生でひとつの節目となると思います。私は二十歳の誕生日を迎えて何か変わるかなどと考えていたが、何ら変わることもなく過ぎてしまいました。

しかし、二、三年前に読んだある本の中で、次のように書かれていました。「人間は常に変化し続けている。もちろん地球も休むことなく回っているし、動物も自然も建物も私たち人間も生命がある限り変化し、生き続けると思う。」

二十歳に想うこと
成人式を迎えて



小座山 曾根 正雄

本日、成人式を迎えた訳ですが今は感想がどうこう言う前に懐かしい気持ちでいます。それは、みんなが同じ気持ちでいると思います。なぜなら成人式に出席するために同級生たちが一堂に集まった訳ですから、高校を卒業してからあるいは中学を卒業して以来全く顔を合わせることもなかった友人が数多くいたからです。今日このような場を設けてくださった玉造町に対して感謝の気持ちで一杯です。

成人式を迎えるまでに過ごしてきた二十年間という日々が何だかとても早く過ぎてしまったように感じています。しかし、思い起こしてみればこのように短く思える日々の中には、本当に数多くの出来

事がありました。楽しかったこと、辛かったこと、いろいろな思い出が目を閉じれば昨日の日のように思い出されます。その思い出深い日々の中には、数多くの友人や知人、恩師そして自分を今まで育ててくれた両親、それに生まれ育ったこの地域・玉造町がありました。そのお陰で今ここに自分があると思うと本当に感謝の気持ちで一杯です。そして今日は何事もなく無事に成人式を迎えることができました。

こうして成人式を迎えて二十歳、大人になったわけですが、今の自分はまだまだ社会的にもまた他の面でも子ども扱いされているところがあり、反面そのことに自分も甘えてしまっている。このままでは、いくら形は成人したとは云え、「一人前の大人」としては社会的に認められることはできないと思っています。そこで今日という日を節目として自分自身「一人の大人」という自覚と責任をもち、少しでも早く社会に認めてもらえるように努力して行こうと思います。そして、これか

ら自分は、青年団での地域活動や茨城県等での事業や研修に数多く参加することによって自分の視野を広げ、色々な経験を積み、少しでも自分を磨き、また少しでも地域に貢献できるよう活動して行こうと思います。

二十歳のひとこと

いよいよ今年から社会人。学生として甘えてきた自分をぬぎすて、自分の考えをもった人になりたいと思います。

緑ヶ丘 安達 ゆか

常に胸に希望を抱き前進あるのみ。父母に感謝するとともに、いろいろと私を育ててくれた地域社会にも感謝しています。

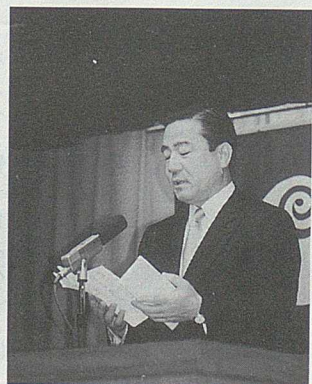
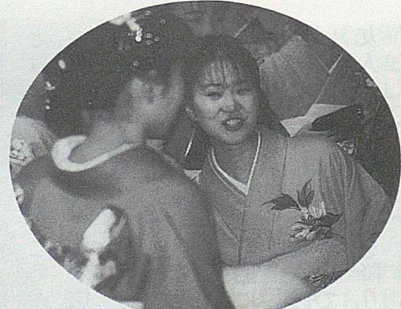
宿 茂木 敏之

選挙権がもてるのでうれしい。大人への第一歩……。社会人としてガンバって行きたい。

芹沢 中島 まり子

これからは自覚と責任をもつことはもちろんのこと、ひとを思いやる心を忘れずに、ひとの心の痛みがわかるような大人になりたいものです。

諸井 塙 由美子





世界のリーダー圈 アジアを目指して

平成7年度 茨城県青年の船に
玉造町から4名が参加、国際交流を深める

一九八〇年より実施されてきた「茨城県青年の船」も今年で六回目を迎えました。本町でも参加者の多くが地域のリーダーとして活躍されていますが、今回も指導者一人と団員三名が十一日間の青春の旅を楽しみました。その研修の思い出を綴っていただきました。

平成七年度 青年の船に参加して

出会い、夢

上山鉾田工業団地内
事業所勤務(鉾田町車引)

藤田和則

一〇月二八日鹿島港を出発して、翌一月七日、日立港に帰港するまでの十一日間の青年の船で自分が感じたこと体験したことを少しお話ししたいと思います。

中国と聞いてどのようなイメージが浮かぶでしょうか？私は、水墨画の世界や素朴な農村といったイメージが強いのですが、天津・北京のような大都市になると、近代的な

ビルが群立し、昔は塩田だった場所を工場誘致の目的で区画整理を行ったりして、凄じい程の勢いで経済成長を遂げていることが伺えました。さて、中国まで客船で行きました。船だと片道四日近くかかります。このように時間をかけてどうして行くのか普通は疑問に思うところですが、この私も同様の考えでした。船中では、「洋上祭」・「ディベート」・「模擬議会」等の行事、知事や船長の講話のほか、今回乗船した団員で自分が得意とする分野での自主講座を開く人、そして夜は次の日の研修での発表準備、団員同士での懇親会等々、意外に忙しい日々を過ごしました。

往復十一日という時間が、今思い出しても非常に楽しかった、そして矢の如く過ぎ去った大切な経験を与えてくれた世界であったことと胸を張って言えます。

実際、中国へ行って何が良かったのかと問われる方もいることでしょう。しかし、先述した種々の研修体験、下船時の寂しさ等は、この青年の船に参加し船旅を経験しない

自己確認の旅

上宿 横田 吉央

私が今回の研修で得たものは多々あるが、その中の幾つかを紹介したい。

まず一つ目は、四百人以上の大きな団体の中の生活で得たものである。普段、私は学生という立場上、いつも付き合える相手が限定されている。同じ大学の友人、中学、高校の頃からの友人、バイト先の友人などである。それら友人は同じ学問を学んでいたりと、同じ趣味を持っていたりといった具合に、比較的自分に近いものを持った人たちである。しかし、今回の研修で知り合うことのできた人たちは、自分とは全く違った立場、学生ならば全く違う学問を学んでいる方々であった。このように人々と知り合えたことによって、私も多くのものを得ることができた。自分とは違った意見、考え方、立場の人たちと自分を対比することによって、今まで以上に「自分」という人間を認識することができたように思う。



また、この同就の人々に対して自己紹介をした時に起きた問題によって得られたものもあった。

その問題とは、私が現在専攻している学問についてである。私の専攻は「宗教学」であり、宗教を客観的・中立的な立場で研究する学問である。しかし、研修に参加した仲間たちは誤解しており、「どこか宗教に入っているの。」や「あやしい。」などと言ってきた。そのため、自分の学んでいる学問をその人たちに説明するために今まで以上に本を読み、同じ専攻の友人と議論するようになり、自分自身の勉強になった。まだ、学び始めてかや半年位であるが、今まで学んできたことの良い

復習の機会になったことである。

また、中国という海外へ初めて出ること得られたものもある。テレビ、新聞、雑誌などの様々なメディアを通して、中国についての情報は多少入手していたが、実際にその土地に行くことによって肌で感じたものは計り知れないものがあつた。

しかし、幾つか紹介してみただが、一番に得たものといえは、友人ではないかと思う。様々な経験を得られたのも、結局は今回知り会えた友人たちのお陰ではないかと思う。

期待と不安 の十一日間

手賀 堀田 秀晴

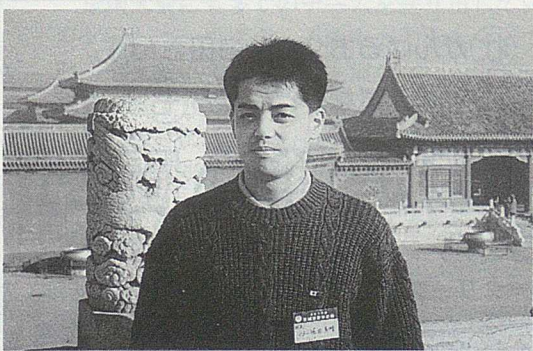
平成七年一〇月二八日から一月七日までの十一日間、私は「茨城県青年の船」に参加し、中華人民共和国を訪問してきました。

今回、青年団の先輩方から強く勧められ参加を希望した「青年の船」でしたが、海外

ことのなかった中国を自分の目で観てくることができました。

中国に吹く大陸の風は大変冷たく、一月上旬でありながら日本の真冬並みの寒さでした。中国人民の大半の生活は質素で昭和三〇年代の日本のくらしを彷彿させましたが、都市部と農村部では生活様式や貧富の差が非常に大きく感じられました。都市部では、巨大なビル群と古い住宅街が混在しているなど近代化が進む中で、質素な生活からの脱却を図ろうと努力する中国の人々の力強さを目の当たりに感じることができました。

中国視察で一番印象に残った



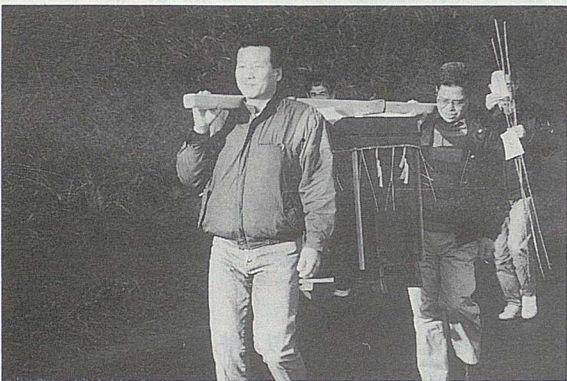
たのが「抗日戦争記念館」の見学でした。ここには、日清戦争からの様々な記録が展示され、太平洋戦争中に旧日本軍が中国人民などに対して行われた「南京大虐殺」や「七三一部隊による人体実験」の様子などが克明に記されており、日本の学校での戦争に関する歴史教育の物足りなさを感ぜずにはいられませんでした。戦争の悲惨さを再認識するとともに、犠牲になった人々への悔やみの気持ちと戦争反対の意志を更に強固なものとすることができました。

また、中国での最終日には現地青年との交流もあり、彼らは私たちを温かく迎えてくれ、天津市内の散策をするなど楽しい思い出をつくることができました。

今回の青年の船では、たくさんの人たちと出会うことができました。そして、個々の人々に対する接し方や団体活動の在り方など、今後の様々な活動の指針となる研鑽を積むことができました。青年の船は、数々の有意義な経験と思い出を残す素晴らしい研修でした。



むらきど(むらきとう) ～加茂地区～



1月15日は、加茂地区で「むらきど」とよばれる年中行事が行われました。地区の家内安全と無病息災を願って行われているものです。

早朝から地元天台宗寺院の宝幢院で、大般若経が転読された後、地区中堅層の代表者が大般若経櫃を担ぎ、家々にお礼を配りながら加茂を隅なく回ります。また、地区の境界の辻にも悪病が入らないようにとお礼を立てるなど1日がかりの貴重な伝統行事となっています。

昔は、旧玉造町地域と谷島で行われていたものですが、現在、加茂地区以外ではお礼を配り辻にお礼を立てるだけになってしまったようです。

健康とコミュニ ケーションに貢献

天竜荘ゲートボール大会10周年

全国大会にも多くのチームを送り出している玉造町ゲートボール協会。その実力の素となってきたのが、老人憩いの家天竜荘主催のゲートボール大会や講習会等でした。

1月12日には、その大会10周年を記念して天竜荘を会場に式典が開催されました。成島町長、千葉玉造町ゲートボール協会会長等の祝辞や10年間のあゆみの紹介があり、指導に当たってこられた浜の川島利悦さんには感謝状が贈られました。



観音講の餅まき ～藤井地区～

藤井地区では、1月24日、年に一度の観音講の餅まきが行われました。毎年一月の良い日を選び、もち米を持ち寄って餅をつき、講中に配るとともに、妊婦のいる家と希望者には大きなお供え餅も用意されています。

最後に、担当の役員さんが祠に安置されている観音様にお祈りし、集まった講中や近所の婦人や子どもたちに餅をまきました。



献血しようよ！

永年継続した献血ボランティア 献血協力者に日本赤十字社より表彰

いま日本では、手術や機能の障害等により補充しなければならない血液が不足気味で、そのほとんどは献血協力者の血液に頼っています。

本町でも生命の尊さを感じ、自分の血液を医療に役立ててもらおうと長期にわたって献血活動をしている方がいます。

このたび、日本赤十字社から、20回の献血回数を経て30回以上の献血をされた方に銀色有功章が、50回の献血回数で金色有功章が贈られました。受賞者は次の方々です。

金色有功章

中野 正史さん
渡辺 利美さん

銀色有功章

瀧崎 美子さん
中根 恒夫さん
野原喜代志さん
福田 哲也さん
八木 峰男さん
理崎 鉄雄さん

献血については、
保健相談センター
☎55-3240まで



近頃アイバンクにも登録した
中根さん

平成7年度公民館まつりを開催

見て。視て。観て！ 私たちの学習・活動チャンネル



一月二十四日から二十八日までの期間、公民館まつりが中央公民館を会場に開催されました。

日頃、公民館講座や公民館を拠点に文化活動をしている人たちが、一年間の学んだ成果を発表しました。

展示では、生花、木目込人形、着付、手芸などのほかに絵画、書道、写真、水墨画と力作揃いでした。

特に、水墨画や写真は講師の先生も驚くばかりの上達ぶり、来場者の関心を集めていました。

特別講演会では、ラジオ・テレビでキャスターとして活躍されている小島一慶氏を迎え「魅力的な会話術」と題して心の通う会話の大切さをユーモアいっぱい語っていただきました。



団体部では、生活大学が紙すきと再生品バザーを行いました。手話のボランティアはたる灯では、手話ダンスや手話クイズ、手作り品バザーを行いました。

公民館まつりも今年で十五回になり、充実さを増してきましたが、公民館では新たなエキスを注入し、生涯学習の拠点にふさわしい活動を展開しようと企画をしています。

町民みなさまからのアイデアやご要望をお寄せ下さい。連絡先 ☎(五五)〇一七一



発表の部では、俳諧、俳句、カラオケ、詩吟と、受講生も指導者クラスになっており、充実した内容で、自慢のものを披露していました。

その他、囲碁将棋大会や茶会が行われ、新春のひとときを楽しく過ごしました。

●書き初めとポスター展
ロビーでは、こどもたちが新年の思いを込めた書き初めや文化財愛護のポスターもあわせて展示され、まつりに一役買っていました。

①がんばるお父さんお母さん① ②小元気な子どもたち②

球技で熱い闘い

第3回ソフトバレーボール大会と第5回玉造ロータリークラブ少年サッカー大会を開催



ソフトバレーボール

レクリエーションスポーツとして人気のあるソフトバレーボール大会が、一月二十九日に海洋センターアリーナと中学校体育館を会場に開催されました。参加チームも年々増え、健康づくりに奨励している企業もあるようです。男女共生時代のこのスポーツ、主役はやはりお母さんたちのようです。結果は次のとおり。

優勝 井川食品
準優勝 西谷 A
三位 浜 S C C 荒宿 S C B
年齢制限の部

優勝 ヘルスターズ
準優勝 荒宿 S C A
三位 アップルズ・浜 S C A
少年サッカー

一月二十八日、町民運動場等を会場に行われた玉造ロータリー杯は、小学生とは思えない組織プレーが随所で見られ応援に訪れた父母を楽しませていました。低学年・高学年の部とも山王サッカースポーツ少年団が優勝。優勝チーム以外から選ばれた優秀選手賞は次のみなさんです。

高学年―平間忠道、梶田駿介
鈴木祐介、高学年―仁平一男
宇井聖人、中村陽一(敬称略)

米穀の販売についてのお知らせ

「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」が昨年11月1日に施行されたことにより、米穀の販売については「許可制」から「登録制」となりました。これに伴い、米穀の販売を行いたい方については、次の手続きが必要となります。

登録申請期間	毎年4月1日～30日 (最初の登録申請は平成8年4月1日～30日となります。)
登録期日	毎年6月1日(登録有効期間は3年間) (最初の登録は平成8年6月1日となります。)
登録申請手数料	販売所数が1である場合は9,000円、販売所数が2以上ある場合は9,000円に1店舗あたり5,000円を加算した額
登録要件	米穀販売のための売場があること
申請先	販売所の所在する市町村窓口又は県鹿行地方総合事務所
問い合わせ先	玉造町役場 町民課 青少年婦人対策係 消費生活担当 ☎55-0111 内線143

ガス溶接技能講習 講座講習のお知らせ

県立鹿島産業技術専門学院では、在職者の短期訓練を実施しています。
今回ガス溶接作業に従事する皆さんの技能向上と安全のために次の講習を実施いたしますのでご参加下さい。

日時	平成8年2月29日(木)～3月1日(金)の二日間
場所	県立鹿島産業技術専門学院
内容	労働安全法に基づく「ガス溶接・ガス切断等の作業に従事する場合」は、講習を受けて「修了書」を取得していることが法的に義務づけられています。
定員	二十名(先着順)
受講料	二、六〇〇円(受講申請とともに納付してください。)
申込先	県立鹿島産業技術専門学院

平成8年測量士・測量士補試験の実施について

試験日時	平成8年5月19日(日)
測量士	午前10時～午後4時まで
測量士補	平成8年5月19日(日) 午前10時～午後4時
試験地	東京都ほか十四府県市
受験願書受付	建設省国土地理院 つくば市北郷一番

場所 郵送する場合は、書留郵便とすること。
受験願書受付 平成8年2月1日～2月29日(土・日及び祝日を除く)
時間 午前10時～午後4時
受験願書用紙 平成8年2月1日から県土木部用地課及び建設省国土地理院において交付。
郵送により請求する場合は、封筒のおもてに「願書請求」と朱書きし、所要の切手をはった宛て先明記の返信用封筒を必ず同封のこと。ただし県では郵送の取扱はしません。

問い合わせ先 建設省国土地理院
☎〇二九八(六四)一一一
茨城県土木部用地課
☎〇二九(二二四)六九二四



交通事故相談所をご利用ください

茨城県では、交通事故により生じる賠償問題、更生問題、また援護問題などの相談機関として「交通事故相談所」を設けています。また、三十三の市町村で交通事故相談員による「巡回相談」を実施しています。相談料は無料、また交通事故相談所では電話での相談も行っていますのでご利用ください。

鹿行地方交通事故相談所

銚田合同庁舎三階 ☎〇二九一(三三)四一一 内線二二四
相談日 月・水・金曜日
時間 午前九時～午後四時
但し、祝祭日を除く
鹿行地区弁護士相談
相談日 金曜日
時間 午後一時～四時

「高校卒業資格」への道 大検制度の説明と 個別相談会のお知らせ

毎年一回実施される「大学入学資格検定」いわゆる大検。今年も、八月の第一週に水戸市の茨城県立水戸南高等学校で実施される予定です。

茨城県の約二千人をはじめ全国で毎年十万人前後にも及ぶ高校中退者、あるいは諸事情により高等学校を卒業していない中卒者のみなさんに対して、大学進学や各種資格取得のため、高校卒業と同等の学力認定の道を拓く「大学入学資格検定」の説明と個別相談会を左記の要項に添い、水戸市で開催いたします。

実施にあたっては、専門相談員が対応します。熱意あるみなさんご参加をお待ちします。

日時 平成8年3月3日(土) 午後一時三十分～
会場 茨城県立県民文化センター分館・集会所
住所 水戸市千波町東久保
☎〇二九二(四一)

申込み 方法 一六六
どなたでも参加できます。費用は無料です。ただし、会場準備の都合から事前の電話予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

予約並 協会・大検情報センター
合先 ター
☎フリーダイヤル
〇二二〇(五五五)〇一八

マイペースで学習 茨城県立水戸南 高等学校通信制 課程の生徒募集

茨城県立水戸南高等学校通信制課程とは、向学の意志を持ちながら、いろいろな事情で毎日通学できない方でも、職場や家庭にしながら学ぶことのできる学校です。

入学しますと「面接指導」(スクーリング)と「報告課題」(レポート)を中心に学習が展開されます。面接指導は毎月二回(日曜日または火曜日)程度あり、登校して直接先生の指導を受けます。テレビ、ラジオの放送(NHK高校講座)も利用できます。報告課題は、各教科とも決められた期日までに作成し学校に提出しますと、教科担当の先生が添削をし各個人に返送されます。

応募資格

居住地または勤務地が茨城県にあって、中学校もしくはこれに準じる学校を卒業または平成8年3月卒業見込みの者。新制中学校を卒業していない方は水戸南高校にお問い合わせください。

募集学科並びに定員

普通科 三百名
願書受付期間 平成8年3月4日～3月29日
十九日まで。ただし、三月六

日と土・日・祝日は除く。
午前九時～午後五時

提出書類

▽学校所定の入学願書(複製不可)及び出身中学校の調査書
▽中学校卒業後二十年以上経過している方は調査書のかわりに卒業証明書を提出してください。

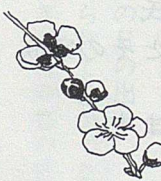
▽必要書類は、直接学校の窓口へ提出してください。郵送は不可。

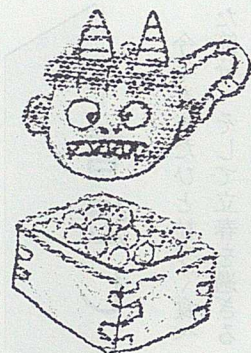
▽志願に必要な書類は、学校に用意してありますので、直接来校するか、学校用意の返信用封筒に貼るための郵便番号・住所・氏名を明記した紙片と切手百九十円分同封の上、水戸南高校まで申し込んでください。

※玉造町でも七名のみなさんが目標に向かってがんばっています。あなたもチャレンジしてみませんか。四十代以上の方も少数ですが、楽しく学習しています。

願書請求先

県立水戸南高等学校(通信制係) 水戸市白梅二一〇一
☎〇二九(二四七)四二八四、六一七三





ゆずの皮そぎつつ漬ける白菜
の冷えし朝香ゆたけく
久米 妙子
川一つ越えて湖水に近づけば
肌に覚えの風触るるなり
小沼 正藏
会葬の冬ざれの庭やわらかき
都会の言葉背を耳に聴く
鈴木 節子
来る年のすこやかのみを願ひ
つつ除夜の鐘聞く夫と二人で
鈴木 和代
足音に耳そばたてて孫を待つ
六たびめぐりし子年迎へて
高塚 麻子
足るを知ること徹して目出
度けれ筑波二峯に初日輝く
鈴木 夢情
海底の見たさもありて勝浦の
海中公園澄む水に入る
島田 敏子

短歌



妹の嫁ぎ先の散歩道去年と同じ道を歩めり
郡司 春枝
雪道をひとりわが行くそくそくと音して残す白き足跡
大久保 和子
さりげなく語る言葉が里思う離れ住む娘の心が見ゆる
菅谷 富栄
秒読みの初日やうやく雲出で朱の極まりし虹の塔かな
八木 みさほ
鈴振れば音は返さず冬木立
山合に早春の風弁財天
鈴木 夢情
草枯れて昔のままの好きな道
大和田 秋海棠
敷入やゲートボールのなごやかに
飯島 その
筑波嶺に流るる煙炭を焼く
山野 草月
掌を打てば一斉に翔つ寒雀
長谷川 鶏頭子
野の道を語らいながら初観音
茂木 孝子

俳句教室



初句会里の細道登り行く
飯島 伸子
初句会歴史問いつつ句を作る
小島 てる代
枯野道辿りて行けば酪農家
遠藤 輝子
見渡せば枯野の中の一人かな
武田 淳子
せんがみの田は荒れしまま冬ざるる
小谷 草洞
冬木立弁天堂を抱え込む
鈴木 和代
腕ぐみの爺の背を追ひ初詣
高野 たま
蛇女良由来の池も冬田かな
八木 草苑
松飾りとれて台地に鉄の跡
藤川 秀子
百姓の庭借り抜けて寒椿
永野 一碩
枯野には枯野のぬくみありにけり
成島 久枝
武蔵野の昔も今も大枯野
川島 草人

文学館

第七三回玉造町中央公民館
兼題「新年・正月の風物一切」
七日過ぎて一枚二枚遅れ
賀状が春つれて 長峰幾代
今年こそはと合格祈願 絵馬
に託した初詣 大崎美代
子らと遊んで百点パパに株
を値上げたお正月 河野有美
孫にやかきいれ皮算用は 不
況どこ吹くお年玉
羽成せい子
日の出拝んでお屠蘇で祝い
里の稲荷に初詣 溝口義一
心軽々生活せる年に 杖をお
供の村の杜 大曾根玉扇
客も帰った初春三ヶ日姑もい
そいそ実家帰り 駒館せつ子
平和願った子年の初春は 日
本列島雪模様 藤崎藤娘
笑い上戸の年賀の客に 屠蘇
で家中福笑い 岡野竹堂
はずみ過ぎたかその気になっ
て 軽い財布の小正月
川島草女
願い聞いてとおみくじ抱いて
結ぶ両手に初日影 市村きよ女
村の鎮守へ元朝参り

合うた人毎ご挨拶 坂本才依
客が帰って内孫もどる やつ
とわが家のお正月 村松茂伸
お屠蘇おせちとつぎつぎ出る
が 孫は気になるお年玉
磯山咲子
爪を揚げてとせがんだ孫へ
風を待つ間の独楽遊び
六十路手習い覚えた筆が 描
く色紙は嫁が君 広原正人
今年こそはの期待を胸に 一
家揃って初詣 渡邊釣月
凍みる寒さをこらえて待つて
祈る幸せ初日の出 谷島 栄
惚れた振られた話題のスター
壁で微笑む初暦 成島青芦
年も新たに思いを込めて さ
す手雅びに舞扇 森作嘉代
土手に登れば東の空に 光り
眩しい初日の出 関口育子
一月号表紙の句は、虹の塔
の元旦早朝見学に参加された
八木操さんの作品を紹介しま
した。当日のようすは次の歌
によまれています。
「元旦の日の出
見られて良かったね」
ささやき聴こゆ虹の塔かな

健康と福祉

鹿行地区健康セミナー 開催のお知らせ

鈴木保健所では、みなさん
といっしょに健康について考
えます。ふるって参加して下
さい。

日時 平成8年2月23日(金)

午後一時三十分～四時

場所 旭村立公民館

鹿島郡旭村造谷一

四一

電話 〇二九一(七)一

一八

内容 テーマ「心の健康と福祉社会」

講師 常陸太田共同

作業所指導員

武藤祥子 先生

※「心の健康を保つためには

何が大切か?」、「精神障

害者にとって、どんな社会

が住みやすいか?」等につ

いて、実践をおとしての講

話となります。

その他 入場無料

問合せ 鈴木保健所 鈴木町

申込先 鈴木一六六七三

電話 〇二九一(三)二二五八

高齢者等介護機器の 特別展示について

茨城県介護実習・普及セン
ターでは、介護機器・用品の
普及を図るため展示会を開催
いたします。

▼介護機器特別展示会

期間 平成8年3月8日～

三月十日

場所 茨城県総合福祉会館

水戸市千波町一九一

八

展示機 車椅子、電動車椅子

器具目 特殊寝台、移動用リ

フト、入浴用補助用

具(シャワーベンチ、

入浴台) 歩行支援用

具、体位変換器、安

全杖、緊急通報装置、

移動用バー、食事介

助具、電磁調理器、

紙おむつ

▼セミナー

三月九日(土)

午後一時三十分～

▼問い合わせ先

(社)茨城県福祉サービ

ス振興会

電話 〇二九(二四四)

四四二五

健康をもっと考えよう!



いばらき予防医学プラザ すこやかフェスティバル'96

日時 平成8年2月25日(日)～29日(木) 10:00～15:00
会場 茨城県健康科学センター 展示室及びエントランスホールほか
内容 施設と内容は次のとおりです。



暮らしの中の健康講座

天候・気象シリーズ1

日時 平成8年2月27日(火) 13:30～14:30
会場 茨城県健康科学センター 3階会議室
内容 テーマ「気象と健康のかかわり」

講師 水戸地方気象台防災業務係長 山田 隆徳氏

アレルギーシリーズ1 ～ アトピー性皮膚炎や食物アレルギー等の疾患とその家族

日時 平成8年2月28日(水) 13:00～15:00
会場 茨城県健康科学センター 3階大会議室 ※無料保育もあります。
内容 テーマ「アレルギー患者の家族の対応&情報交換」
講師 アトピizzi地球のネットワーク事務局長 赤城 智美氏

春近し

今年もまたひと粒多く食べた節分、そして立春を過ぎると、湖のまちにも穏やかな日和には、春の訪れを感じるようになります。

水戸の偕楽園や筑波の梅林は、観梅客で賑わいをみせていることでしょう。

当町では、藤井や浜に梅畑があり、名所旧跡でもささやかに梅が咲きほころんでいます。

古刹の西蓮寺は、桜と銀杏が春秋を彩りますが、古木の梅も違った趣で境内に春をよんでいます。



折々のはな

江戸時代、水戸へ続く道「水戸街道」と呼ばれた旧国道三五五沿いの横町には、茨城県指定文化財の「大場家住宅」が当時の面影をしのばせています。

水戸藩時代には、代々「大山守」を務めていました。屋敷は、光圀や斉昭らの藩主を迎え入れたとされ、武家づくりの構えを感じさせてくれます。この大場家の梅にも郷土のあゆみが記されているようです。通称「あかずの門」の長屋門。その隣にある薬医門をくぐるとかぎのてに通路は折れ、その奥には梅の木が小さな花の輪を付けています。

また、奈良時代に防人として西国におもむいた人たちの歌が、『万葉集』には収められています。当地の先祖の歌もその中にあり、本町では万葉歌碑として顕彰されています。そのひとつが捻木にあります。かたわらの梅の香りは、私たちを万葉の昔へといざなってくれます。



誕生おめでとう

いねこます

出産(一月受け付け分)

ところ	氏名	性別	保護者
羽生	海老澤 真緒	女	弘次
根古屋	塙 康孝	男	利夫
西蓮寺	飯島 幹太	男	和幸
沖洲	坂本 大樹	男	真治
緑ヶ丘	川崎 航平	男	浩人
若海	原田 純治	男	正美
浜	弓削 亜梨沙	女	正

※本紙四二五号掲載分の清水真美さんは真実さん、川島涼平さんの保護者義之さんは秀之さんの誤りでした。訂正してお詫び申し上げます。

※掲載を望まないときは、届け出の際か、もしくは、役場企画商工課(五五-〇一一一内線二二二)へご連絡ください。



おくやみを

申し上げます

死亡(一月受け付け分)

ところ	氏名	年齢
浜	大和田 健夫	八四
中山	石川 房之丞	八一
八木蒨	佐藤 ちよ	八七
諸井	小沼 筆口	九一
西蓮寺	舟串 剛	二二
川向	猶守 スエ	七七
新田	菅谷 早苗	四七
根古屋	齋藤 三郎	七〇
	滝崎 勝吉	八一
	野原 茜	〇
	坂本 眞一郎	六五
	金塚 喜作	八七

とわずがたり

この時期、多くの若者が新たな学舎を求めて試験に挑んでいます。

戦前は複線的な進路選択ができ、自分をつめ友と夜を徹して語り合い、主体的な学生活動をしたということを、先輩諸氏よりうかがったこと

があります。

過日、ドイツ留学の知人がドイツの若者はよく語り合い読書すると言っていました。

勤勉家の国民性は変わらないようです。しかし、物質的に豊かな国日本は、心の豊かさが失われて行くようです。

児童生徒数は減少し、教育

環境や方法等について学校も変革が求められているようです。高等学校や大学では、生き残りをかけて自己改革に懸命です。

「先生」はすてきな出会いと思い出のことばです。明日の学舎にはどのような先生との出会いが待つのでしょう。